

ひがしどおり

No. 47

議会だより



平成26年東通村消防団出初式：分列行進（H26.1.7）

11月定例会

- 定例会審議内容………2P
- 一般質問 2人の議員が登壇………3～4P
- 臨時会・全員協議会・視察研修等………5～7P
- 要望活動・議会の動き………8P

定例会のあらまし



議員の指名、議会運営委員長報告後に会期を決定。次に村長より提出議案について提案理由の説明。十一月二十九日から十二月四日まで議案熟考のため休会として散会。

十二月五日は、二本柳弘志議員、吉田光男議員による一般質問が行われ、続いて報告案件一件、条例案件二件を審議。

六日は、その他の案件三件、補正予算案件三件、契約案件一件を審議後、閉会。

後年度における交付金並びに地方交付税等の減収に備え、公共用施設の維持管理費、住民の利便性向上事業等に充当。財源確保と事業を計画的かつ安定的に実施するためのものであります。

補正予算

平成二十五年度一般会計補正予算

本年度の事務事業等について補正。既定額に十億百四十六万七千円を追加。総額を八十三億五千九万五千円とするものです。

が十一月二十八日から十二月六日までの九日間の会期日程で開かれました。定例会には村長より、報告案件一件、条例案件二件、その他他の案件三件、補正予算案件三件、契約案件一件、合計十案件が提出され、全日程、全議案が原案どおり可決。

開会初日は、会議録署名議員の指名、議会運営委員長報告後、議案について提案理由の説明。十一月二十九日から十二月四日まで議案熟考のため休会として散会。

報告

11月定例会に提案された議案を紹介します。

地域の元気臨時交付金事業基金条例

基金造成により、平成二十六年度事業に充當可能となることから、交付金の効果的な活用を図るものであります。

歳入は、国庫負担金、支払基金交付金等を一般会計繰入金に追加。歳出は、保険給付費を追加。予算総額を七億二千八百六十四万円とするものであります。

その他

教育委員会の事務点検及び評価に関する報告書

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、議会に報告するものです。

土地開発公社の解散

第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請

権利の放棄

村が債務保証している公社の借入金について、第三セクター等改革推進債を活用し公社債務を解消、平成二十五年度をもつて解散するものです。

平成二十五年度下水道事業特別会計補正予算

修繕工事費及び委託料等の減額。予算総額を二億七千七百十一万九千円とするものです。

契約

物品の購入

東通オフサイトセンター臨時ヘリポートに対し、夜間ににおいても、防災関係機関が運用するヘリコプターの離着陸を可能とするための簡易移動式夜間照明機器。十一月十八日に指名競争入札に付し、五百七十七万五千円をもって株式会社アビエーション・テクノに落札したので、本契約を締結するものです。

平成二十五年度介護保険特別会計補正予算

歳入は、国庫負担金、支払基金交付金等を一般会計繰入金に追加。歳出は、保険給付費を追加。予算総額を七億二千八百六十四万円とするものであります。



二本柳 弘志 議員

【村長】

最近は、ひとみの里分譲地にも住宅が増え、マンション、福祉医療・教育施設が整つたこともあり、流入人口と交流人口が増加傾向にある。その

対策として、分遣所より早く到着できる地区からの出動要請があった場合は、資機材を積載しているポンプ車を署から出動させ、応急措置が出来る体制で進めており、地区住所所、老健施設、老人ホームなどの施設があり、特に日中ににおいては、人口密度も比較的高く、人的に緊急を要する事態が起こり得ることが想定される。このことから、村民の命を守る観点から、東通消防署に救急車配備の考えはあるか。

よりワクチン接種費用を全額補助し、発症の予防に努めてきた。しかし、昨年八月末の時点で、全国で接種した延べ六百六十三万五千人のうち九百五十六人に失神や歩行不能を含む四肢の運動能力低下などの副反応の症状が出たことが報告され、約七千回に一回の発症となっている。中には、歩行障害などの重い症状が出て、一年三ヶ月にわたり通学出来ないなどの重篤な患者も出ている。これは、インフルエンザワクチンの副反応発生率の十倍程度に相当するとのことである。このような状況により、国では、本年六月十四日に、専門家会議を開催し、

東通消防署への救急車配備について

【二本柳弘志議員】

近年、役場中心地において、マンション、小中学校、診療所、老健施設、老人ホームなどの施設があり、特に日中ににおいては、人口密度も比較的高く、人的に緊急を要する事態が起こり得ることが想定される。このことから、村民の命を守る観点から、東通消防署に救急車配備の考えはあるか。

財政的な事情も充分に考慮し、



子宮頸がん予防ワクチン接種後の副作用の発生状況及び対策

【吉田光男議員】

全国的にワクチン接種後、副作用が発生し、記憶障害や脳障害に悩み続ける方や家族がいる。個人差はあるが、報道等によると想像を絶するほど凄まじいと聞いている。我が村の接種による副作用の発生状況及び対策はどのようになっているのか。



吉田光男 議員

【村長】

村では、平成二十二年十月

者への接種機会は確保しつつ、会議の答申を受け、接種希望

いものと存じてるので、ご理解賜る。

「ワクチンの積極的な接種勧奨の差し控え」について通達し、現在に至っている。村では、平成二十一年十月から本年十一月二十五日現在で、一回から最大三回のワクチン接種を行なうが、接種対象者九百四十五人に対し、延べ四百二十八件の接種を行い、合計で百五十二人の方が接種されており、副反応は、今のところ報告はない。副反応の発症期間は、接種した日から約一ヶ月までの発症が最も多く、村においては最も接種が近い方でも二ヶ月以上経過している。発症が見られた方がいた場合、と課題、又、今後の計画・見通しは。

東通村の下水道事業の現状と課題、又、今後の計画・見通し

【吉田光男議員】

下水道事業は、村の基幹産業である農林水産業等の基盤となる豊かな自然環境を子孫へ引き継ぐためにも必要不可欠な事業であり、村の財政状況を見極めながら、多少の年月を要しても事業推進を図るべきと考える。又、整備地域と未整備地域の格差が生じている状況にある。現時点において、村の下水道事業の現況



【村長】

八パーセントとなつており、加入地域のトイレの水洗化率も約八十パーセントに達している。これまで、建設事業に要した費用は、概ね七十四億円となっており、一世帯あたりに換算すると約二百六十八万円となる。公共下水道拡張事業計画は、蒲野沢、鹿橋地区は三十年度までの事業認可が認められており、蒲野沢地区は約四億一千万円、鹿橋地区は約三億三千万円と想定される。漁業集落排水などの集合処理方式についても、村下水道基本構想整備計画において、比較的人口密度の高い集落においては、費用対効果などの条件をクリアしており、今後、精査の上、事業の実施を取り組んで参るのでご理解賜ります。

八パーセントとなつており、落単位での地域特性などを考慮しながら、経済性などを比較検討した結果、戸別の合併

八パーセントとなつており、未整備地域との格差は、各集落単位での地域特性などを考慮しながら、経済性などを比較検討した結果、戸別の合併

八パーセントとなつおり

第二回臨時会

全員協議会

★十月三日（木）午前十時

平成二十五年第三回臨時会

が十月三十日招集され、会期を一日とする日程で開かれました。

臨時会には村長より、報告案件一件、契約案件一件が提出され原案どおり可決。

◎協議案件

平成二十五年九月台風十八号等の影響による災害調査報告

村長挨拶後、田中総務課長、

坂本まちづくり整備課長、南谷つくり育てる農林水産課長

より資料に基づき、詳細に村内の災害調査についての報告説明がなされました。被災内容は十三件で、約五千円と見積もり、関係機関に報告している。幸いにも、一部ハウス等の浸水があり、直接農産物等には大きな影響はなかった。被災の中で、本格的な復旧を必要とする事業は、

台風十八号等の影響により発生した災害に対応するため、緊急的な措置を必要とする経費について、専決処分するものです。

平成二十五年度一般会計補正予算

契約

入口橋補修工事請負契約
十月十七日指名競争入札に付し、六千六万円をもって株式会社橋本建設工業に落札したので、本契約を締結するものです。



★十一月十八日（月）午前十時

◎協議案件

土地開発公社の解散について

合併処理浄化槽設置整備事業等について

村長挨拶後、坂本経営企画課長及び弓水资源サービス課長より資料に基づき、詳細に

説明でした。これに対し議員からは、サクラマス増殖施設の被害状況について、降水量について、水害の原因について等質問が出され、その都度詳細な説明がなされました。全会一致のもと了承し閉会致しました。

東京両電力の原子力発電所着手及びその後の運転開始と、市町村合併をしない村としての人口定住促進のため、住環境整備を図るには用地取得と住宅整備を機動的、弾力的に行うことができる土地開発公社を必要とし、平成七年に設立した。又、公社設立以降は学校用地、保健福祉医療複合用地、猿ヶ森環境保全用地、里地区住宅事業用地の先行取得を行い、村の公共事業の円滑な執行に寄与してきた。しかし、平成十四年から開始した分譲地の販売は、バブル経済崩壊と不景気が長引いたことにより、計画どおりに進んでいなかつた。又、公社が取得した保健福祉医療複合用地、猿ヶ森環境保全用地は村が買上げるべき土地であるが、それをもつて解散することが適切であると判断し、定期会に開

係案件を提出致したいとのことでした。特に、ひとみの里分譲地については、今後とも住宅用地としての販売を推進して参ることでした。これに対し議員からは、猿ヶ森地区環境保全用地の計画について、期末残高調べについて、今後の土地管理及び販売に向けた取り組みについて、今後の販売検討委員会について、ひとみの里分譲地の平均単価について等質問が出され、その都度詳細な説明がなされました。全会一致のもと了承しました。次に、東通村合併処理浄化槽設置整備事業等について、下水道事業は平成十年度から特定環境保全公共下水道整備事業及び漁業集落排水施設整備事業に着手し、平成十三年度に尻屋地区、翌十四年度には砂子又地区、十七年度は白糠・老部地区、十二年度は小田野沢地区がそれぞれ供用開始された。現在

の普及率は五十五パーセントと超え、更に処理区域内におけるトイレの水洗化率は八十分で、対し議員からは、猿ヶ森地区環境保全用地の計画について、期末残高調べについて、今後の土地管理及び販売に向けた取り組みについて、今後の販売検討委員会について、ひとみの里分譲地の平均単価について等質問が出され、その都度詳細な説明がなされました。このため、蒲野が、全会一致のもと了承しました。次に、東通村合併処理浄化槽設置整備事業等について、下水道事業は平成十年度から特定環境保全公共下水道整備事業及び漁業集落排水施設整備事業に着手し、平成十三年度に尻屋地区、翌十四年度には砂子又地区、十七年度は白糠・老部地区、十二年度は小田野沢地区がそれぞれ供用開始された。現在



★十一月六日（金）午前十時三十分

役割を担つており、恒久的な事業推進を図らなければならぬと考えている。このため、下水道事業の効率的・効果的で即効性の高い事業手法の見直しを行つてきたところであり、事業の投資効果を最大限發揮する戸別処理、いわゆる合併処理浄化槽に対する国庫補助制度を活用し、平成二十六年度より実施したいとのことでした。これに対し、議員は全会一致のもと了承し閉会致しました。

東通原子力発電所東京一号機等の状況

村長挨拶後、東北電力（株）執行役員・東通原子力発電所・佐藤所長並びに東京電力（株）東通原子力建設所・藤田所長より協議案件について詳しく述べられました。佐藤所長より東北一号機等の取り組み状況について、東日本大震災において、電源に最も近い女川原発は冷温停止し、安全な状態を維持している。福島原発の事故から得られた知見や東日本大震災における当社発電所の経験を活かしながら、より確実な安全確保に向けた安全性向上の取り組みをハード・ソフト両面から継続的に実施している。世界最高水準の安全レベルを目指す新規制基準が施行された中、この基準への適合性審査を原子力規制委員会から受けるこ

り、事業推進を図らなければならぬと考えている。このため、下水道事業の効率的・効果的で即効性の高い事業手法の見直しを行つてきたところであり、事業の投資効果を最大限揮する戸別処理、いわゆる合併処理浄化槽に対する国庫補助制度を活用し、平成二十六年度より実施したいとのことでした。これに対し、議員は全会一致のもと了承し閉会致しました。

東通原子力発電所東京一号機等の状況

村長挨拶後、東北電力（株）執行役員・東通原子力発電所・佐藤所長並びに東京電力（株）東通原子力建設所・藤田所長より協議案件について詳しく述べられました。佐藤所長より東北一号機等の取り組み状況について、東日本大震災において、電源に最も近い女川原発は冷温停止し、安全な状態を維持している。福島原発の事故から得られた知見や東日本大震災における当社発電所の経験を活かしながら、より確実な安全確保に向けた安全性向上の取り組みをハード・ソフト両面から継続的に実施している。世界最高水準の安全レベルを目指す新規制基準が施行された中、この基準への適合性審査を原子力規制委員会から受けるこ



への参加を実施しているとのことでした。又、福島原発における汚染水対策、廃止措置等に向けた進捗状況（使用済み燃料プールからの燃料取り出し作業）、柏崎刈羽原発六号機における新規制基準へ適合申請など資料に基づき説明がなされました。これに対し議員からは、地震計の移動について、原子力規制委員会との議論のあり方等質問が出され、その都度詳細な説明がなされました。全会一致のもと了承し閉会致しました。

去る十月十六日（水）岩手県八幡平市において、全国市議会議長会基地協議会東北部会第二十一回定期総会が開催。総会では平成二十四年度事業報告・会務報告及び平成二十四年度收支決算、平成二十五年度収支予算（案）百三十三万五千六百四円と平成二十五年度事業計画を承認。

《六ヶ所村・横浜町・東通村議会議員研修・交流会》

去る十月二十五日（金）横浜町トレーニングセンターにおいて、三町村研修・交流会が開催されました。講師に青森県選舉管理委員会事務局・千葉茂氏を迎え、「第二十三回参議院議員通常選挙とインターネット選挙運動の解禁」と題し、講演をして頂きました。



去る十一月十三日（水）東京NHKホールにおいて、「真の分権型社会の実現を目指して」をスローガンに第十五回町村議会議長全国大会が開催されました。関係者約千七百人出席し開催されました。来賓の安倍内閣総理大臣をはじめ、国家議員多数出席の下、大会宣言、大会提出案件、要望事項、特別決議案等を満場一致で採択、閉会致しました。

《第五十七回町村議会議長全国大会》

去る十一月十三日（水）東



去る十一月二十日（水）下北郡町村議会議長会主催による知事を開催されました。講師に市町村アカデミー客員教授・大塚康男氏を迎え、「議会人が知つておきたい常識について」と題し、講演をして頂きました。

去る十一月二十日（水）下北郡町村議会議長会主催による合同研修会が佐井村「津軽海峡文化会館アルサス」において開催されました。講師に株式会社青森経営研究所代表取締役社長・北村真夕美氏を迎え、「私とみちづくり運動」と題し、講演をして頂きました。

《全国市議会議長会 基地協議会東北部会定期総会》

去る十月二十八日（月）青

去る十一月八日（金）青森県町村議会議長会主催による正副議長・事務局長研修会が開催されました。講師に市町村アカデミー客員教授・大塚康男氏を迎え、「議会人が知つておきたい常識について」と題し、講演をして頂きました。

去る十一月二十日（水）下北郡町村議会議長会主催による合同研修会が佐井村「津軽海峡文化会館アルサス」において開催されました。講師に株式会社青森経営研究所代表取締役社長・北村真夕美氏を迎え、「私とみちづくり運動」と題し、講演をして頂きました。

《郡町村議会議員及び事務局職員合同研修会》

視

察

研

修

等

要 望 活 動

《東北一号機早期再稼動・ 東京一号機早期工事再開》



東北電力株式会社に対し要望



東京電力株式会社に対し要望

昨年、十一月十七日（火）、越善村長、そして

議会から小笠原議長・南川原発特別委員長によ

り、東北電力株式会社・海輪取締役社長に対し

「東北電力株式会社東通原子力発電所一号機の
早期の再稼動」、又、東京電力株式会社・廣瀬代

表執行役社長に対し、「東京電力株式会社東通原
子力発電所一号機の早期の工事再開」を求める
趣旨の要望書を提出し、強く要請致しました。

議会の動き

		議会の動き
10月	3日	全員協議会
	7日	郡町村議會議長会視察研修会（～9日）
	16日	全国市議會議長会基地協議会東北部会定期総会（～17日）
	25日	六ヶ所村議会・横浜町議会・東通村議會議員研修・交流会
	28日	正副議長・事務局長研修会
	30日	議会運営委員会・第3回臨時会
11月	1日	全国原子力発電所立地市町村議會議長会役員会
	8日	青森県町村議會議長会「知事を囲む行政懇談会」
	13日	第57回町村議會議長全国大会
	18日	全員協議会
	19日	青森県原子力施設環境放射線等監視評価会議
	20日	郡町村議會議員及び事務局職員合同研修会
	22日	議会運営委員会
	25日	全国原子力発電所所在市町村協議会全体会議（～26日）
	28日	第4回定例会招集
12月	5日	定例会本会議
	6日	定例会本会議・全員協議会
	17日	東北・東京電力(株)へ原発再稼働、再工事要望

平成二十五年十一月第四回定期会が十一月二十八日開会され、提出議案十件を議決。十二月六日閉会しました。

総務企画常任委員会に引き続き、教育民生常任委員会が十月から十二月までの議会の動きをまとめてみました。

今後も引き続き、議会の役割として、公正で客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりに努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

次回は、産業建設常任委員会の担当です。

編集後記